

■ 夢の実現へ リニア中央新幹線 55

魅力ある駅周辺整備を探る③ ～上越新幹線「本庄早稲田駅」～

「リニア中央新幹線」計画について、シリーズでお伝えしています。

今月は、全国のオリジナリティ豊かなコンセプトや特徴あるまちづくりを行っている新幹線駅として、埼玉県本庄市にある上越新幹線「本庄早稲田駅」の駅周辺整備について紹介します。

問 リニア中央新幹線推進局（☎内線 323・327）

本庄早稲田駅（埼玉県本庄市）～孫子の代まで引き継げるまちを目指して～

本庄早稲田駅は、平成16年3月に開業した上越新幹線の駅です。東京まで新幹線で約50分の距離に位置することから、首都圏への通勤・通学にも利用されています。

駅は新幹線単独駅であり、在来線既存駅との接続がないため、自動車で駅まで行き、新幹線に乗り換える利用形態（パークアンドライド）を想定して計画されました。そのため、駅の東側に1,300台を超えるパークアンドライド用の民間有料駐車場が設けられています。

駅周辺整備は、新幹線駅開業後に土地区画整理事業に着手。並行して「早稲田リサーチパーク地区整備事業」も進められ、早稲田大学の研究施設や関連施設の整備、ホームセンター業界大手「株式会社カインズ」の本社移転など企業立地も進んでいます。

本庄市では、本庄早稲田駅を中心に、隣接する早稲田大学本庄キャンパスを含んだ「早稲田リサーチパーク地区」や、本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業エリアを新たな拠点地域とし、「新たな顔としてのまちづくり」「豊かな自然環境と調和したまちづくり」「ユニバーサルデザインのまちづくり」をコンセプトに、市民・民間事業者・行政機関の協働による「本庄早稲田の杜づくり」を進めています。

取り組みでは早稲田大学と連携した産業・業務の誘致のほか、エコタウンの整備やメガソーラー事業、地域住民で組織する「まちづくり活動勉強会」によるまちみがき活動など、より魅力ある地域とするための様々な活動や取り組みが行われています。



本庄早稲田駅正面



駅前広場



駅南口の早稲田リサーチパーク(奥)と
(株)カインズ本社(手前)



駅前広場と一体的に整備された男堀川